

## 「平島太鼓」伝承活動の取組

### 1 学校名

十島村立平島小中学校

### 2 学年・人数

小学1年1人，小学3年3人，中学1年1人 計5人

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

放課後 毎週火・木曜日（学校体育館）

#### (2) 発表の日時・場所

4月 転入職員・山海留学生歓迎式（山海留学生は随時）

8月 夏祭り

9月 敬老会

10月 トカラ列島島巡りマラソン大会歓迎式

11月 学習発表会

3月 転出職員・山海留学生送別式

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### (1) 名称

平島太鼓（たいらじまだいこ）

#### (2) 由来

平島では30年以上，平島太鼓が伝承されている。はじめは出水市の野田郷島津太鼓との交流が根底にある。これがきっかけとなり，子どもたちが太鼓演奏の指導を受け始まった。今でも，野田郷島津太鼓の方達と交流を持ちながら，山海留学生も多いので転出入もあるが，自分たちが伝承していく気概は高い。

#### (3) 構成等

平島小・中学校の児童生徒を中心に，教職員や地域の方々に演奏する。

太鼓の種類は，締太鼓の小さいものや中位のもの，宮太鼓の中位のもの，大型のもので構成し，人数編成は年度により異なる。曲目は伝統的なものから，音楽の教科書に載っている曲をアレンジするなど幅広い。

### 5 保存会や地域との連携の具体

従来は，地域の教育活動として続けてきたが，少子高齢化により練習時間の確保や指導することが困難となってきた。そのため，平島子ども会，平島小・中学校，平島自治会，平島子ども会の支援の下，「平島太鼓」を運営し，地域の郷土芸能として位置付けてきた。このような取組により，平島小・中学校の児童生徒を中心に，地域ぐるみによる平島太鼓の伝承につながり，次世代に継

承する伝統芸能として位置付けられてきている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながら平島太鼓を継承していくために、平島小・中学校内に「平島太鼓」事務局が置かれている。今後、継続して地域と連携して平島太鼓を伝承していける体制が整えられた。また、「地域の郷土芸能は地域で守り育てていく」という自覚を促すねらいから、平島子ども会が中心となって伝承していく体制を維持するようにした。さらに、平島自治会と連携を図り、出水市の野田郷島津太鼓から指導を受けるなど、平島太鼓の伝承活動を主たる活動として位置付けた。今後、小学1年生にも平島太鼓を演奏する機会を設け、将来的には、中学生が小学生に太鼓演奏の指導を行う体制を構築していきたいと考えている。普及啓発活動として、地域行事への参加、十島村トカラ島巡り列島マラソン歓迎演奏を港で行い、その取組の様子を学校だより等で保護者や地域住民に積極的に広報している。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



野田郷島津太鼓の方による演奏指導風景



敬老会での発表



学習発表会での演奏



トカラ列島島巡りマラソンの歓迎演奏

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

「みんなで平島太鼓を演奏する」という伝統が根付いており、練習を休む児童生徒はいない。「中学生が小学生を引っ張る」ということが慣例となっているため、中学生も積極的に参加し、後輩の小学生たちに演奏を手ほどきする姿が見られる。

また、練習は週2日の放課後になるため、小・中学生の時間調整が必要となるが、平島太鼓に対する保護者の理解もあり毎回練習ができています。ふるさとの郷土芸能である平島太鼓を通して、地域への誇りや愛着を子どもに育みたいという親の願いが根底にあるように思われる。(保護者)

平島子ども会の支援の元、「平島太鼓」事務局が平島小・中学校内に設置され、平島自治会に島外団体との連携が委嘱され、島を挙げて平島太鼓を伝承していこうとする機運ができた。放課後の練習にもかかわらず担当教員は毎回参加し、自主的に指導を行ってきた。また、演奏する児童生徒数の減少も目立ったが、教員が子どもたちと一っしょに演奏披露するなど対応してきた。演奏の発表機会を増やすなど、地域の方々に賞賛される機会が増えたことで、児童生徒も励みになっている。(教員から)